

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第41期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	ぴあ株式会社
【英訳名】	PIA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢内 廣
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	取締役主計担当 長島 靖弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	取締役主計担当 長島 靖弘
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第3四半期連結 累計期間	第41期 第3四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	77,918,411	96,758,072	111,950,399
経常利益又は経常損失() (千円)	476,997	665,065	350,238
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)	498,670	485,994	382,622
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	494,756	496,367	390,234
純資産額(千円)	3,455,733	4,769,868	4,340,723
総資産額(千円)	23,789,197	31,996,336	36,484,746
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	35.44	34.54	27.19
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	14.3	14.8	11.8

回次	第40期 第3四半期連結 会計期間	第41期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	10.47	7.06

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第41期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

第40期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

第40期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果や日銀の金融緩和などによって企業収益が改善し、個人消費も持ち直しつつあるなど、景気は回復基調で推移し、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、着実に底堅く推移しました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、第3四半期に入っても引き続きインターネットでのチケット販売が好調に推移し、過去最高の売上を記録するとともに利益も大幅に伸張しております。

特にチケット販売サービスでは、当社も出資参画した大型興行（ポール・マッカートニー、ザ・ローリング・ストーンズ等）の販売が好調で、音楽・演劇・スポーツ・レジャーなど全ジャンルにおいて前期を上回るかたちで好調に推移しました。

また、昨年5月に業務提携契約を締結したKDDI株式会社とは、「auスマートパス」会員向けのチケット先行販売を実施する他、スマートフォン向けエンタテインメントサイトの開設や音楽・映画など各種イベント開催も拡大するなど、エンタテインメントの活性化に向けた取り組みをより一層強化しています。

以上の結果、当社グループの第3四半期の業績は、連結売上高967億58百万円(対前年同期比124.2%)、営業利益6億69百万円(対前年同期比11億22百万円良化)、経常利益6億65百万円(対前年同期比11億42百万円良化)、四半期純利益4億85百万円(対前年同期比9億84百万円良化)と大幅な増収増益となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

- 「東方神起」、「SUPER JUNIOR」
- 「Animelo Summer Live 2013」
- 「ももいろクローバーZ」
- 「a-nation」、「AAA」
- 「KARA」、「Perfume」
- 「オーヴォ」
- 「松任谷由実」、「ポルノグラフィティ」
- 「ポール・マッカートニー」 当社出資興行
- 「ウォーキング・ウィズ・ダイナソー」 当社出資興行
- 「ザ・ローリング・ストーンズ」 当社出資興行
- 「夏ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）
- 「花火ぴあ」（首都圏版/関西版）
- 「秋ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）
- 「食本」シリーズ（池袋、銀座・有楽町、六本木等）
- 「氷室京介ぴあ」
- 「冬ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）
- 「軍師・官兵衛ぴあ」

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

重要な変更等はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
A種優先株式	3,000,000
B種優先株式	3,000,000
C種優先株式	3,000,000
D種優先株式	3,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,092,913	14,092,913	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は、 100株であります。
計	14,092,913	14,092,913	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	14,092,913	-	4,239,158	-	-

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 22,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,067,000	140,670	-
単元未満株式	普通株式 3,513	-	-
発行済株式総数	14,092,913	-	-
総株主の議決権	-	140,670	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式90株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
びあ株式会社	東京都渋谷区東一丁目 2番20号	22,400		22,400	0.15
計	-	22,400		22,400	0.15

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	-	取締役	COO 兼 事業統括本部長	唐沢 徹	平成25年10月17日
取締役	事業統括 本部長代行	取締役	事業統括副本部長	木本 敬巳	平成25年10月17日

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	-	唐沢 徹	平成25年11月26日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,983,045	10,372,791
受取手形及び売掛金	13,486,486	17,007,843
商品及び製品	79,958	99,354
仕掛品	895	5,143
原材料及び貯蔵品	4,151	4,295
繰延税金資産	246,167	246,962
その他	1,151,257	1,769,718
貸倒引当金	39,018	54,111
流動資産合計	33,912,944	29,451,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	125,712	112,030
工具、器具及び備品(純額)	130,148	129,363
土地	6,240	6,240
その他(純額)	48,818	82,569
有形固定資産合計	310,919	330,203
無形固定資産		
のれん	4,191	2,619
ソフトウェア	969,144	877,945
ソフトウェア仮勘定	79,136	137,741
その他	60,343	59,877
無形固定資産合計	1,112,815	1,078,183
投資その他の資産		
投資有価証券	396,324	410,943
敷金及び保証金	480,320	476,171
繰延税金資産	7,404	8,421
その他	591,456	591,313
貸倒引当金	327,440	350,899
投資その他の資産合計	1,148,066	1,135,951
固定資産合計	2,571,801	2,544,338
資産合計	36,484,746	31,996,336

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,683,707	21,855,869
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	725,955	505,152
未払金	1,000,490	922,422
未払法人税等	90,065	49,198
賞与引当金	169,271	49,308
返品調整引当金	303,000	253,000
その他	1,400,410	2,128,787
流動負債合計	30,472,899	25,863,737
固定負債		
長期借入金	1,024,636	693,470
退職給付引当金	90,899	105,611
役員退職慰労引当金	110,680	91,621
預り営業保証金	328,400	329,000
繰延税金負債	14,867	16,171
資産除去債務	60,706	61,264
その他	40,932	65,590
固定負債合計	1,671,123	1,362,730
負債合計	32,144,022	27,226,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	269,825	145,817
自己株式	61,363	61,377
株主資本合計	4,310,639	4,726,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,667	12,628
為替換算調整勘定	20,711	19,068
その他の包括利益累計額合計	13,043	6,440
新株予約権	-	3,142
少数株主持分	43,127	46,897
純資産合計	4,340,723	4,769,868
負債純資産合計	36,484,746	31,996,336

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	77,918,411	96,758,072
売上原価	72,292,394	89,086,574
売上総利益	5,626,017	7,671,498
返品調整引当金戻入額	350,000	303,000
返品調整引当金繰入額	198,000	253,000
差引売上総利益	5,778,017	7,721,498
販売費及び一般管理費	6,230,521	7,051,686
営業利益又は営業損失()	452,504	669,811
営業外収益		
受取利息	372	281
受取配当金	8,102	15,342
持分法による投資利益	404	12,381
その他	3,860	3,214
営業外収益合計	12,738	31,219
営業外費用		
支払利息	24,136	21,602
保険解約損	-	7,765
訴訟関連費用	8,000	-
その他	5,095	6,597
営業外費用合計	37,231	35,965
経常利益又は経常損失()	476,997	665,065
特別損失		
役員退職特別功労金	-	71,188
関係会社株式評価損	-	19,999
特別損失合計	-	91,188
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	476,997	573,877
法人税、住民税及び事業税	22,618	87,366
法人税等調整額	3,260	3,253
法人税等合計	19,357	84,112
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	496,354	489,764
少数株主利益	2,315	3,770
四半期純利益又は四半期純損失()	498,670	485,994

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	496,354	489,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	4,960
為替換算調整勘定	1,404	1,642
その他の包括利益合計	1,598	6,603
四半期包括利益	494,756	496,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497,072	492,597
少数株主に係る四半期包括利益	2,315	3,770

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	1,140,530千円	394,903千円
のれんの償却額	3,071	1,571

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	42,211	3	平成24年3月31日	平成24年6月26日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 定時取締役会	普通株式	70,352	5	平成25年3月31日	平成25年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	35円44銭	34円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	498,670	485,994
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	498,670	485,994
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,070	14,070
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 26 年 2 月 10 日

ぴあ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	杉本 茂次	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田村 剛	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	孫 延生	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているぴあ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ぴあ株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。